SEIWA®
車内用電気ケトル　保証書付き

ユーザーズマニュアル

Z60　ボトル電気ケトル

このたびは、ボトル電気ケトルをお買い上げいただきありがとうございました。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意 1.（必ずお守りください）

この「安全上のご注意」は、製品を安全にお使いいただき、危害や財産への損害を未然に防止するために、注意事項を絵表示しています。安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示ごとに区分し、説明しています。

⚠警告　この表示の項目事項を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が生じる事が想定される内容」を示しています。

⚠注意　この表示の項目事項を無視して、誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。	❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意 2.（必ずお守りください）

⚠警 告

本機専用の電源プラグを使う
●火災や故障の原因になります。
●本機は12V車専用です。
●DC24V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）にはご使用になれません。

シガーソケット電源から複数の電源をとらない
●直接純正シガーソケットに差し込みます。
※延長ソケット・分岐ソケット及び、AC/DC、DC/DCコンバーターでの使用はしない。
●火災、故障、車両側ヒューズの断線の原因になります。

水で濡らさない
●水にかけたり、かけたりすると、故障や感電の原因になります。

電源コードを傷つけない
●火災、感電の原因になります。
※電源コードを加工したり、傷つけない。
※電源コードを熱器具に近づけない。加熱しない。
※電源コードを抜くときは、必ずプラグを手で持って抜く。

濡れた手で電源プラグに触らない
●感電の原因になります。

分解や改造をしない
●故障や感電の原因になります。

右上へ続く ↗

安全上のご注意 2.（必ずお守りください）

⚠警 告

不安定な場所や振動の多い場所には置かない
●ボトル内に水またはお湯を入れた状態での走行はおやめください。
●落ちたり、倒れたりして、故障やけが・事故の原因になります。
●お湯が流れ出てやけどのおそれがあります。

危険な場所には置かない
●運転の妨げになる場所には設置しないでください。事故の原因になります。

水以外（牛乳、お酒、お茶類等）の物を絶対に入れない。氷を入れて保冷用として使わない。
●牛乳、お酒、お茶類等を入れますと、焦げつき・腐食・故障の原因になります。
●冷たい水や氷を入れますと結露が生じ、故障や感電の原因になります。

お車の運転中は、使用しない
●自動車事故の原因になります。
●やけどの原因になります。

異常が起きたとき
●煙が出たり、異臭がするときは、電源プラグを抜いてください。事故や故障の原因になります。

本体電源端子部（金属部）にピンを差し込んだりしない。ジャックに金属やホコリなどのゴミを付着させない
●ショートや感電・発火の原因になります。

⚠注 意

電源プラグ以外は使用しない。電源プラグを他の機器などに使用しない。
●発火・故障の原因になります。

ボトルの水位線以下に、水を入れる
●水位線（FULL）以上に水を入れるとボトルからこぼれるおそれがあり、車内や周囲を汚す原因になります。

水を200ml以下で使用しない
●注ぐ際にふきこぼれる可能性がございます。

本機を傾けたりしない
●注ぎ口はロックしても完全密閉ではありませんので、水または湯が入っている際は傾けないでください。

フタを開けたまま湯沸かしじしない。湯沸かし中はフタを開けたり、注いだり、移動しない。
●湯が飛び散り、やけどの原因になります。

水が入った状態で本機を移動させない
●水がこぼれて故障の原因となりますのでお止めください。

長期間使用しないときは、ボトルの水を捨てる
●長期間使用しないときは、衛生上、ボトルの水を捨ててください。また、電源も切ってください。
●再使用する場合は、新しい水をご使用ください。

不安定な場所や火気の近くでは使用しない
●やけどや火災の原因になります。

お手入れする際は、必ず電源プラグ・メスプラグを抜いてください
●感電やショートして発火するおそれがあります。

長期間の閉め切った自動車室内には放置しない。直射日光のあたる所や発熱器具に近づけたりしない
●本機の変形・変色や故障の原因になります。
●本機の使用・保管温度は、0℃から45℃の範囲です。

本機を持ち運ぶ時は、電源プラグ・メスプラグを抜いて、フタを閉めてハンドルを持ってください
●落下したり、湯がこぼれたりしてけがややけどの原因になります。

本機やボトルを落下させたり、強い衝撃を与えない
●破損や故障の原因になります。

本機を転倒させない
●転倒させますと湯がこぼれ、故障ややけどの原因となります。

注ぎ口に手を触れたりしない
●やけどをすることがあります。

フタを開けるときに出る蒸気に触れないように注意してください
●やけどの原因になります。

備長炭などの炭を入れない
●故障の原因になります。

使用時以外はシガーソケットから抜く
●けがややけど、感電・ショートの故障の原因になります。

空だきをしない
●本機の熱変色などの故障の原因になります。
●本機底面のステンレス板が変色します。

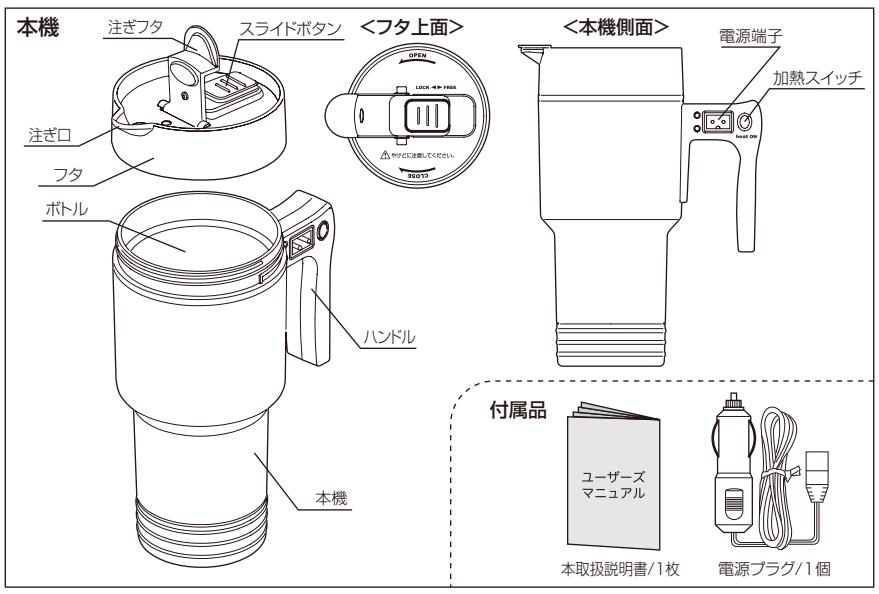
本機は純正カップホルダーにしっかり載せる
●転倒して湯が流れ出てやけどをするおそれがあります。

本機は自動車用（車内）です。業務用や船舶用には使用しない
●破損や故障の原因になります。

■本書（取扱説明書）に記載した警告・注意・指示・内容に反してご使用をされた場合の保証は致しかねますので、ご了承ください。

左下へ続く ↙

各部の名称

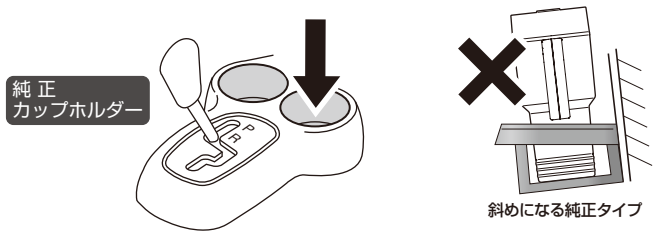


お使いになる前に

1. 自動車に本機を設置

設置場所
①本製品を水平で安定した純正カップホルダーに、丁寧に入れてください。
②収納後に本製品が、傾いたり、ぐらぐらしないかご確認ください。

【ご注意】
◇下記に該当する純正カップホルダーには設置しないでください。
・ドア掛け、ドアポケットタイプ→電源プラグを使用するため、ドア開閉するときに危険性があります。
・マグカップが置ける大きいサイズのもの→倒れる危険性があります。
・移動するとぐらついたり、ホールド性が低く不安定なもの→倒れる危険性があります。

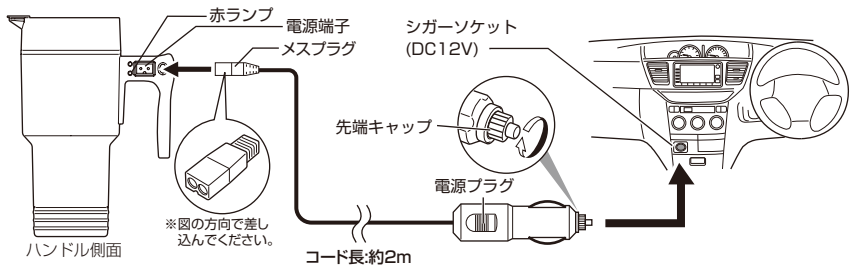


※車種によっては取り付け部分が多少変色したり、日焼けによる取り付け跡が残る場合があります。

右上へ続く ↗

2.電源プラグの接続

■付属の電源プラグをシガーソケットに差し込み電源をとる
●シガーソケット内のゴミ、灰等をよく取り除き電源プラグを差し込んでください。汚れたまま電源プラグを差し込むと接触不良の原因になります。
●ハンドル側面の電源端子にメスプラグを奥までしっかりと差し込んでください。
※振動等で抜け落ちることの無いよう奥までしっかり差し込んでください。



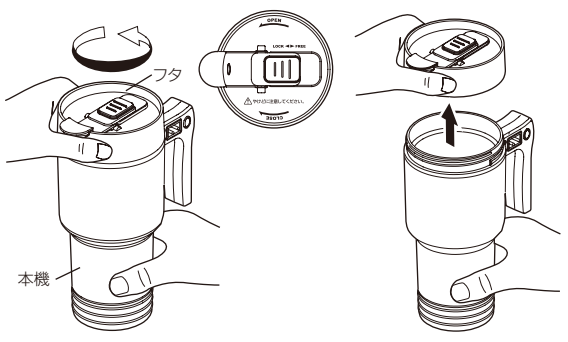
⚠注意
◇必ず付属の電源プラグをご使用ください。
※コードを切断・結線してのご使用は、大変危険ですので絶対におやめください。
※運転に支障がきたさないようにコードの取り回しをあらかじめご確認をしてください。
※走行中に電源プラグの先端キャップが緩くなることがありますので、ご使用前に増し締めを行ってください。
※電源プラグは振動などによりゆるむ場合がありますので、定期的に奥まで差し込んでください。
※お車のキーを抜いても本製品の赤ランプが消えない車種（一部のホンダ車及び外国車）は、降車する際に必ず本製品の電源プラグをシガーソケットから抜いてください。
※電源プラグを抜く際は、必ず電源プラグの根元をしっかり持って、シガーソケットに対し水平にゆっくり抜いてください。回転させたり、斜めにして無理に抜くと破損の原因になります。

使い方 1.

【ご注意】
●初めて使うときは、事前にボトル内部を水またはぬるま湯で良くすすいでください。
●初めて使うときは、お湯が臭うことがあります。ご使用とともに少なくなります。気になる場合は、2～3回沸騰させた後、お湯を捨ててください。
●ご使用になるお車の取扱説明書をご覧になって、安全を確認の上、下記の作業を行ってください。

1. ご使用前の準備

フタをはずす
①電源が入っていない（電源プラグを抜いた状態）事を確認してください。
②本機とフタ部を手でしっかりともって、フタを左に回り（反時計回り）してください。
③フタを上に持ち上げて本機を外してください。

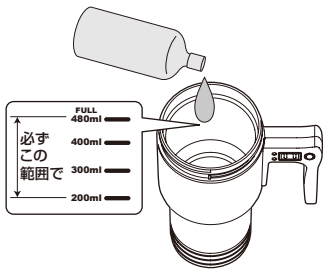


裏面へ続く ↩

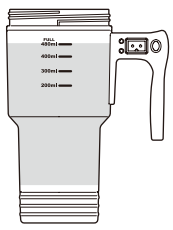
ボトルに水を入れる

⑤ペットボトル等の容器に水を入れ、ボトル内の水位線「FULL」の線まで入れてください。

【ご注意】
・水を補給される際は運転を停止し、本機のジャックを電源端子から外してから行ってください。
・蛇口から直接、水を入れないでください。
・こぼれないようにゆっくりと入れ、本機が濡れたら拭き取ってから電源を入れてください。



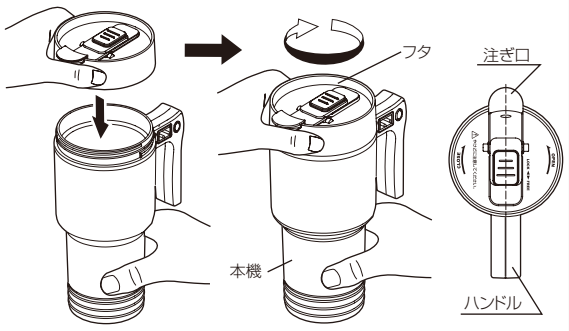
<断面図>



フタを本機に取り付ける

⑥本機とボトルをセットして、右に回して回転してください。**最後まで締めてハンドルと注ぎ口が直線になるようにしてください。**
⑦取り付けができましたら、カップホルダーに設置してください。

【ご注意】
・本機を手でしっかり固定してください。
・水を注ぐ際は、本機を傾けないよう注意して行ってください。水が入っている時に傾けますと水がこぼれます。

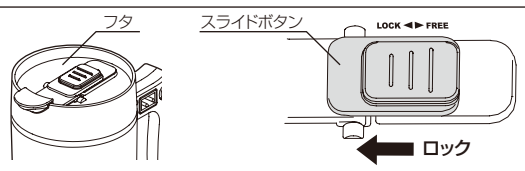


ご使用方法 2.

1. 起動～運転終了

運転開始

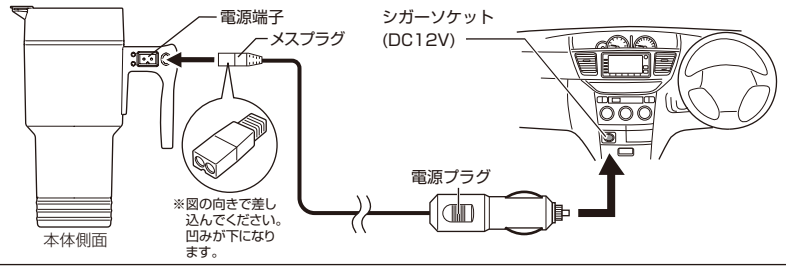
①フタがしっかりと閉まっていることを必ず確認してください。
②スライドボタンが**「LOCK」**状態になっていることを必ず確認してください。



各電源を接続します

③本機にメスプラグを奥まで差し込んでください。
④電源プラグをお車のシガーソケットに奥まで差し込んでください。

【ご注意】
●メスプラグには差し込む方向がありますので、必ず確認してから差し込んでください。
●電源端子差し込む口がぬれていないか確認してください。

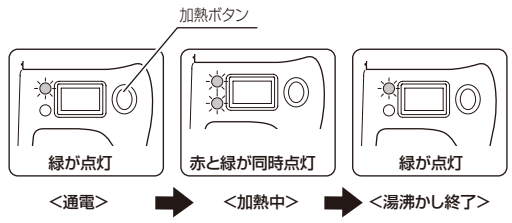


右上へ続く ↗

加熱ボタンを入れます

⑤通電状態で緑が点灯します。
⑥加熱ボタンを押しますと、「赤と緑が同時点灯」します。
※お湯が沸くと自動的に電源が切れます。(赤が消灯し、緑が点灯したままになります)

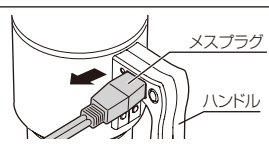
【湯沸かし中に電源を切りたい時】
●加熱ボタンを押し加熱スタート後は、自動OFFになるまで加熱ボタンでOFFに出来ません。途中でOFFにしたい場合は、電源プラグを取り外してください。
●再加熱の際は、湯温が75℃以下にならないと加熱ボタンを押しても加熱しません。



●自動OFFまでの温度と時間は、水量・水温・室温など使用にによって異なります。
湯温度　誤差含む90 ± 5℃　最高温度到達時間　25℃の水 480mℓ/ 約20～40分
●保温機能はありません。湯沸かし完了後放置すると、お湯は冷めます。必要なときに必要な量だけを沸かしてください。

本機からメスプラグを抜きます

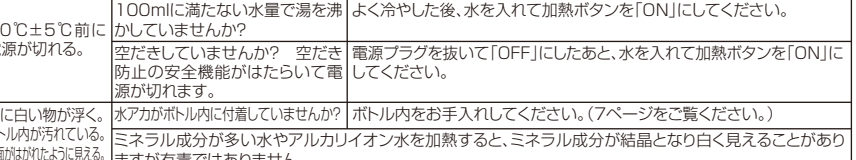
⑦本機からメスプラグを抜きます。
※メスプラグを抜く際に、ハンドルを手でしっかり押さえてゆっくり抜いてください。



お湯を注ぎます

⑧フタがしっかりと閉まっていることを確認してください。
※メスプラグを抜く際に、ハンドルを手でしっかり押さえてゆっくり抜いてください。

注ぐとき		注ぎ終わったら	
スライドボタンを「FREE」の方向にスライドさせます。	指で注ぎフタを持ち上げてください。	注ぎフタを締めてください。	スライドボタンを「LOCK」の方向にスライドさせます。



使用後は

⑨残り湯を捨てて、ボトル内を空にしてください。

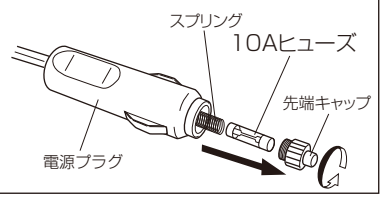
【お願い】
●ボトル内のお湯を残さないでください。放置すると変色・腐食・においの原因になります。
●ご使用後はお手入れしてください。
●本機・ボトル内をこまめにお手入れしてください。

ヒューズの交換方法

■電源プラグ内のヒューズを交換する場合

●電源プラグにヒューズが入っています。もし切れた場合は、先端キャップを外し必ず同じアンペア数のヒューズに交換してください。

※指定数以外のヒューズを使用すると、トラブルの原因になります。



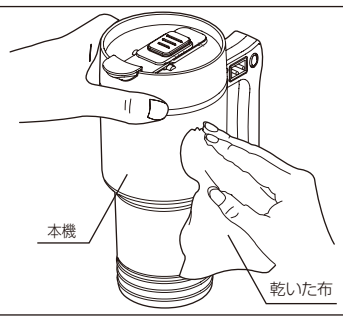
左下へ続く ↙

お手入れ方法

1. 本体の清掃

お手入れする際は、必ず電源プラグ・メスジャックを抜き、残り湯を捨てて、本機が冷めてから行ってください。
①本体は乾いた布または水を固く絞った布で拭いてください。

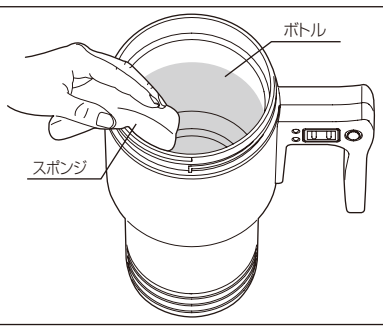
【ご注意】
●中性洗剤、アルカリ性洗剤、アルコール、ベンジン、シンナー洗剤等の溶液で拭いたりしないでください。本機に直接水をかけたりしますと破損や故障の原因になります。
●本機の水洗いは絶対にしないでください。故障の原因になります。
●絶対に本体に水をかけないでください。故障の原因となります。



2. ボトル内の洗浄

①ボトルに水またはぬるま湯を半分ぐらい入れ、やわらかいスポンジで拭き取った後、水ですすぎます。

【ご注意】
●ボトルの変色やにおいの原因になるので、残り湯は捨てて、こまめにお手入れしてください。
●ミネラルウォーターやアルカリイオン水(ミネラル分を多く含む水)を沸かしたときは、ミネラル分が付着しやすいため、よりこまめにお手入れしてください。
●スポンジでこすり過ぎますと傷が付く可能性があります。注意してください。
●汚れが落ちにくいときは、クエン酸で洗浄してください。(洗浄の仕方を参照)
※目安として1週間に1回、ボトル内の洗浄を行ってください。



3. ミネラル成分について

長く使用していると、水に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)がボトルに付着して次のようになることがあります。
●白い浮遊物が浮く　●乳白色、黒点、虹色なのど変色　●赤さび状のはん点(もらいさび)　●ざらつき
ミネラル成分がたまると、お湯が出にくくなったり、湯沸かし中の音が大きくなる原因になります。付着したミネラル成分がはがれて、お湯の出口をふさぎ、故障の原因になります。

4. 保管に関して

長期間ご使用にならない時は、お手入れ後ボトル内や各部分を十分乾燥させてホコリや高温多湿の場所を避けて保管してください。

5. 洗浄の仕方(クエン酸 1～3ヶ月に1回が目安)

洗浄用クエン酸は、薬局などでお買い求めください。
①ボトル内にクエン酸、約6gを入れます。
②水を満水目盛り(約480ml)まで入れて加熱します。お湯は入れないでください。
③加熱終了後、約1時間放置します。1時間以上放置しないでください。
④電源プラグ・メスジャックとフタを外してお湯を捨てます。
⑤やわらかいスポンジで汚れをこすり落とし、よくすすぎます。
⑥汚れが落ちにくい時は、再度クエン酸を入れて同じ操作をしてください。
⑦クエン酸のにおいを取るために、水だけで通常どおりに再び湯を沸かし、フタをした状態でお湯を捨てます。

右上へ続く ↗

故障と思ったら･･･?

■修理に出される前に今一度ご確認ください。

こんなときは	調べるところ	処　　置
お湯が加熱されないとき。	メスプラグ・電源プラグがきちんと差し込まれていますか?	本機とメスプラグ、車のシガーソケットと電源プラグをしっかり差し込んでください。(5ページをご覧ください。)
	緑と赤のランプは付いていますか?	加熱ボタンを「ON」にしてください。
ランプが点灯しない。	メスプラグ・電源プラグがきちんと差し込まれていますか?	本機とメスプラグ、車のシガーソケットと電源プラグをしっかり差し込んでください。(5ページをご覧ください。)
	電源プラグ内蔵のヒューズは切れていませんか?	ヒューズをご確認ください。切れている場合は、同じ10Aヒューズを交換してください。(6ページをご覧ください。)
	車側のアクセサリー(シガー)ソケットのヒューズは切れていませんか?	ヒューズをご確認ください。切れている場合は、同じアンペア数のヒューズに交換してください。
	車のエンジンは、かかっていますか?	車のエンジンをかけてください。一部のホンダ車や外車を除きエンジンを掛けませんとシガーソケットは通電状態になりません。
	車外品の増設ソケットを使用していませんか?	純正シガーソケットをご使用してください。
90℃±5℃前に電源が切れる。	100mlに満たない水量で湯を沸かしていませんか?	よく冷やした後、水を入れて加熱ボタンを「ON」にしてください。
	空だきしていませんか?　空だき防止の安全機能がはたらいて電源が切れます。	電源プラグを抜いて「OFF」にしたあと、水を入れて加熱ボタンを「ON」にしてください。
湯に白い物が浮く。 ボトル内が汚れている。 塗面がはがれたように見える。	水アカがボトル内に付着していませんか?	ボトル内をお手入れしてください。(7ページをご覧ください。)
	ミネラル成分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル成分が結晶となり白く見えることがありますが有毒ではありません。	
お湯が出ない。 出にくい。	ボトル内・注ぎ口に水アカなどが付いていませんか?	ボトル内・注ぎ口をお手入れしてください。(7ページをご覧ください。)
お湯が臭う。	水道水に含まれている消毒用塩素の量により、カルキ臭が残ることがあります。	
	初めて使うとき、しばらく使ってなかった時は樹脂などの臭いが移ることがあります。ご使用とともに少なくなります。	
再加熱しない。	加熱後すぐではありませんか?	加熱終了後すぐに再加熱できません。内部温度センサーが冷めるまで時間がかかります。

※すべての項目で、問題事項が見受けられなかった時、お買い求めの販売店または、弊社お客様相談センターにて修理を承ります。

保証とアフターサービス

■保証書(梱包箱の側面)	●お買い求めの際、お買い上げ日、販売店名などの記入があるか確かめてください。内容をよくお読みの上、箱ごと保管してください。
■保証期間	**●お買い上げから1年間(本体のみ)。**
■保証期間中の修理	●お買い求めの販売店または弊社にご相談・お問い合わせください。必ず保証規定に従って、保証書の記載内容により修理いたします。
■保証期間後または期間内でも保証範囲外の修理となる事例	●お買い求めの販売店または弊社にご相談・問い合わせください。修理により、機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。 ●誤った使用(水以外の牛乳やお茶等を使用した場合)が原因で故障になった場合にも、有料交換になります。 ●本機の故障の場合にも絶対に分解しないで、お買い求めの販売店または弊社にご相談ください。
※修理可能期間	●生産中止から、一定期間は修理が行えますが、部品の在庫がきれた際は、修理をお受けできなくなる場合があります。

※仕様及び外観は、改良のため予告なしで変更する場合がありますのでご了承ください。
※この製品は日本で企画・設計され、中国で製造されたものです。

本製品に関するお問い合わせは…☎ 047(420)0755
受付時間/AM10:00～PM6:00月曜日～金曜日(祝日休業)
〒273-0023　千葉県船橋市南海神1- 2 - 5

株式会社 セイワ　http://www.seiwa-c.co.jp
〒134-0092　東京都江戸川区一之江町3000番地

ENGINEERED BY SEIWA,JAPAN　MADE IN CHINA